

## —特集—

# 平成3年度教育研究学内特別経費による研究成果

教育研究学内特別経費は、大学の教育研究の一層の充実発展を図るため、学長の判断により、適切なプロジェクトに対して必要な経費を適宜執行できるようにするための経費であり、平成3年度は総額8450万円が21件のプロジェクトに配分された。各プロジェクトにおける研究成果は次のとおりである。

### 広島大学図書館の学術情報サービスを提供するための情報整備の実験的研究

附属図書館	津留	宏道	附属図書館	谷内	聰
歯学部	下里	常弘	附属図書館	赤坂	良孝
生物生産学部	杉山	和男	附属図書館	田川	憲二
学校教育学部	高橋	久	附属図書館	久保	為武
附属図書館	福留	武士	附属図書館	土佐	智義
附属図書館	石田	常亞	附属図書館	諸富	秀人

#### プロジェクトの概要

附属図書館では西条キャンパスへの統合移転を機に、図書資料を図書館に集中化し、利用者に提供する計画を進めているが、これらの膨大な図書情報を迅速かつ的確に提供する機能がますます必要となってくる。この機能を充実させることは非常に重要なことと言える。このことは学術情報サービスの基幹をなすものであり、図書館の学術情報サービスの大きな柱となっていくものである。

従って、図書情報のデータベース化を推進し、構築されたデータベースを多面的かつ効率的に活用可能とすることが最も効果的な情報サービスであると考えられる。この学術情報サービス機能の充実化を図るための情報整備方法、

データベースの活用方策等について次のとおり具体的に試行し実験的研究を行った。

- ①未整備の学術資料の情報整備を迅速化するためのローカルデータベースの機能向上を図る実験的研究
- ②ローカルデータベースと新閲覧貸出システムとの連動実験研究

#### 成果の概要

一 従来のローカルデータベース化に改良を加え、データベースへの入力累積を行った。

データベースシステムにおいてはデータベースを構築する部分、すなわちデータ入力（予算的にも）を要する部分であり、いかに入力データ量が少なくなかつ利用面に対して効果

#### ローカルデータベースの構成

項番	項目名	形式	桁数	属性	入力区分
1	請求記号	V	20	A	要入力
2	登録番号	V	10	N	要入力
3	枝番付登録番号	V	15	N	
4	新旧区分	F	2	N	要入力
5	備消区分	F	1	N	要入力
6	和洋区分	F	1	N	要入力
7	資料ID	F	10	N	
8	旧資料ID	V	20	A	

注) 項番4, 5及び6はデフォルト値を設定し入力回数を減少

的な情報蓄積ができるかが大きなポイントになると考える。このため、類似した項目は基本データをひとつ入力することとし、このデータから他の項目をシステム内で自動生成する方式に改良し約十一万件に及ぶ図書資料の情報をローカルデータベースに入力し累積した。

二 構築されたローカルデータベースと閲覧システムとの連動実験

現在、図書館専用電算機が導入され、利用者サービスシステムのひとつである閲覧システムが平成四年四月から稼